科目番号

D人間11

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教 科	福祉	科 目	生活支援技術	単位数	4	学年・学科	2学年人間科学科選択
教科書	実教出版「生活支援技術」		副教材	ミネルヴァ書房「介護職員初任者研修テキスト」			

学習目標	福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習方法	生活支援の理解、自立に向けた生活支援、緊急時・災害時の支援、終末期の支援、医療的ケアなどについて、必要な支援の方法について講義をした上で実践的・体験的な学習をします。 実践的・体験的な学習活動は、支援方法（介護者役）の体験、支援される（利用者役）体験の両方をしながら、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点等から、利用者主体の生活ができるよう、利用者の状態像に合った根拠に基づいた安全・安楽な介護実践を行うための知識・技術を習得します。

	評価の観点		評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合 考査	割合 考査以外
学習評価	a	知識・技術	自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	前期中間	40 %	20	20
				前 期 末	40 %	20	20
				後期中間	40 %	20	20
				後 期 末	40 %	20	20
	b	思考・判断・表現	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	前期中間	30 %	15	15
				前 期 末	30 %	15	15
				後期中間	30 %	15	15
				後 期 末	30 %	15	15
	c	主体的に学習に取り組む態度(意欲)	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	前期中間	30 %	10	20
				前 期 末	30 %	10	20
				後期中間	30 %	10	20
				後 期 末	30 %	10	20

学期	単元名（題材）	学習内容（小単元）	評価の観点 a	b	c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	生活支援の考え方	・感染症の基礎知識を理解し、感染予防対策や介護従事者の健康管理について学びます。	○	○	○	a:感染症の基礎知識を理解し、感染予防対策（手洗い）の技術を身につけている。 b:感染症や感染予防対策に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c:感染症や感染予防対策について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	a: ワークシート 実技 b: ワークシート c: ワークシート 行動観察
	医療的ケアの理解	・感染のしくみや感染予防の基礎知識を理解し、医療的ケアにおける感染予防の技術を学びます。	○	○	○		
		・心身の健康について理解し、バイタルサインの測定や急変状態の把握と対応における技術を学びます。	○	○	○	a:健康状態の把握について理解し、技術を身につけている。 b:健康状態の把握に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c:健康状態の把握について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
	睡眠・休養の意義と目的	・睡眠・休養の意義や目的、睡眠の種類とリズムを理解し、日常生活における睡眠・休息の重要性について学びます。	○	○	○		
	移動の支援の技法	・移動の支援の技法を理解し、利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な介護技術を学びます。	○	○	○	a:移動の支援の技法について理解し、技術を身につけている。 b:移動の支援に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c:利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な移動の支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	

前期末	生活支援の考え方	・尊厳を保持することの重要性を理解し、利用者の自立に向けた支援について学びます。	○	○	○	a：尊厳の保持や自立支援の考え方について理解している。 b：尊厳の保持や自立支援に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c：尊厳の保持や自立支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	a： ワークシート 実技 b： ワークシート c： ワークシート グループワーク 発表 行動観察
		・利用者の自分らしい生活の実現のための支援について学びます。	○	○			
	生活支援と介護過程	・ICFとは何かを理解し、ICFの活用について学びます。	○	○	○	a：ICFについて理解している。 b：ICFの活用に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c：ICFの活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
	身じたくの支援	・身じたくの意義や目的、アセスメントの視点を理解し、自立に向けた身じたくの支援について学びます。	○	○		a：身じたくの支援にかかわる基本的知識について理解している。 b：自立に向けた身じたくの支援に関する課題を発見し、解決しようとしている。	
後期中間	生活の理解	・生活の個別性や多様性を理解し、利用者のQOLの維持・向上をめざした生活支援のあり方を学びます。		○	○	a：生活支援の考え方について理解している。 b：個別性や多様性のある生活や生活支援のあり方に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c：個別性や多様性のある生活や生活支援のあり方について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
		・利用者の生活歴や時代背景の尊重、潜在能力を引き出す支援、多職種連携の重要性を理解し、利用者の生活をよりよくしていくための支援について学びます。	○	○			
	清潔保持の支援	・清潔にする、清潔を保つことの意義や目的、入浴の作用を理解し、自立に向けた入浴・清潔保持の支援について学びます。	○	○		a：入浴・清潔保持にかかわる基本的知識について理解している。 b：自立に向けた入浴・清潔保持の支援に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c：利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な排泄の支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
	排泄の支援	・排泄の支援の技法を理解し、利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な介護技術を学びます。	○	○	○		
後期末	家事の支援	・自立生活を支える家事支援の意義とICFの視点について学びます。	○	○		a：家事支援にかかわる基本的知識について理解している。 b：家事支援における利用者の自立支援に関する課題を発見し、解決しようとしている。	
	緊急時の支援	・緊急時における応急手当の方法を理解し、緊急時に的確に対応し、行動できる技術を学びます。	○	○	○	a：緊急時における応急手当の方法について理解し、技術を身につけている。 b：緊急時における応急手当の方法に関する課題を発見し、解決しようとしている。 c：緊急時の支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
		・安全に医療的ケアを提供する重要性を理解し、急変時の対応方法を学びます。	○	○	○		
	終末期の支援	・終末期ケアにおけるアセスメントの視点や症状に対する具体的な支援と留意点を学びます。（エンゼルケア、グリーフケア）	○	○	○	a：死後のケアについて理解している。 b：死後のケア、グリーフケアに関する課題を発見し、解決しようとしている。 c：死後のケアについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	